

第2回府中市中学校及び義務教育学校後期課程教科用図書採択地区選定委員会 議事録

日 時 令和2年7月13日（月）13：30～17：05

場 所 府中市教育センター第一・第二会議室

出席者 小川美樹会長、小寺和宏副会長、行廣隆宣委員、木谷淳委員、
小野哲生委員、眞田恭行委員、高石元子委員、伊藤弘委員

小川会長：これから、第2回府中市教科用図書採択地区選定委員会を行います。
みなさん、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

本日から教科用図書の選定をしていただきますが、調査員の説明を各教科聞く
ことに加えて、その中で思われた質問や不明な点をしっかり出していただきな
がら、それぞれの教科用図書の特徴について協議していただきたいと考えてお
りますので、ご発言を遠慮なくしていただけたらと思います。よろしく願い
いたします。それでは、事務局より事務連絡をお願いします。

事務局：それでは、配付資料の確認をさせていただきます。

まず、レジュメ、調査研究の観点（資料1）、A4版 調査・研究報告（資料2
－1）、A3版 調査・研究の報告（資料2－2）、評価表（資料3）、教科書展
示に関するアンケート（資料4）、調査員による調査報告について（資料5）、広
島県選定資料、そして前回の議事録（資料6）です。

調査・研究の報告（資料2－2）についてです。こちらは、尾道市、世羅町、
神石高原町と合同調査研究を行った際の調査報告書です。観点については、すべ
て府中市と同じというわけではございませんが、幅広い観点から調査研究を行
い、公正な報告書となっておりますので、参考に配付させていただきます。

また、資料4についてです。市民からのご意見について、目を通していただき
たいと考えております。

そして、資料6、こちらは前回の議事録です。この会の終了までに確認をして
押印してお帰りください。

改めて、教科書採択についての流れを説明します。今年度行う教科用図書の採択は来年度から4年間、中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書を選ぶものです。

本日を含めて2回の会議でそれぞれの教科の調査員から、資料1に示す5つの観点に基づいて、各社の教科用図書の特徴を報告してもらいます。その報告を受け、本選定委員会には、府中市教育委員会からの諮問に対して答申をしていただくこととなります。

資料2-1をご覧ください。これは、府中市教育委員会へ答申をしていただく際の客観的な資料となります。

資料3をご覧ください。こちらは、調査研究報告を受け、協議をしていただいたのち、3段階で評価をしていただくものです。その際の基準についてですが、検定済み教科用図書ということは、どの教科書会社の教科用図書も文部科学省によって、優れていると判断されたものであるということです。従いまして、評価の基準は「2」として、特に顕著な教科書は「3」、あまり顕著ではないと判断されるものは「1」という基準で評価をしてください。

なお、前回ご質問があった、府中市の特色のある視点について、「社会に開かれた教育課程」について少し整理をしておきます。例えば、社会科で、広島県や府中市が取り上げられている場合には、生徒の学習意欲の向上につながり、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」として捉えることができます。また、内容の構成の部分では、例えば、「英語でマップを作ろう」という単元で、自分の地域の英語マップを作ってみようという小見出し等があれば、「社会に開かれた教育課程」と捉えることもでき、観点3の「内容の構成」と捉えることもできますので、参考にしてください。

それでは、調査員から報告を受けます。

本日の流れは、レジュメに示してございます、5教科7種目についてです。音楽と国語は2種目ずつございます。資料5をご覧ください。限られた時間でも、充実した選定が行えるよう、全教科の調査員に、このとおり調査報告をするよう連絡しております。

例文にありますように、各観点で特徴的なものの番号が報告されますので、選定

委員の皆様には、マーカーで印をつけながら、お聞きいただきたいと思います。さらに、最も特徴的な観点については、別の色のマーカーを使用してください。

調査員からの説明を10分間、質疑応答を10分間、選定に係る協議及び評定を10分間、合計1種目の予定時間は30分間としております。音楽と国語については1時間弱を予定しております。予定時間内に評定が終わらなかった教科については、16：40からの時間で再度協議を行っていただきます。府中市の子供たちが使用する教科用図書の選定が厳粛且つ適正に行われるよう、御協力をお願いいたします。私からは以上です。

小川会長：それでは今の説明の中で、ご質問等がありましたらお願いします。よろしいでしょうか。では教科の説明に移ります。

小川会長：それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で説明をお願いします。

調査員：ただいまより、技術・家庭科（家庭分野）の教科書図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願ひ致します。

まずは、東京書籍の特徴について、観点で特徴的なものの番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、東京書籍の教科書の特徴で最も特徴的なものは、第3の観点の視点でした。具体的には、1ページ目の目次をご覧ください。学習指導要領にはA家族・家庭生活、B衣食住の生活、C消費生活・環境の内容が記載されています。そのうち、B衣食住の生活について、食、衣、住の順に3つに編立てして、A家族・家庭生活、C消費生活・環境とあわせて5編で示されているところでした。

続いて、教育図書の特徴について観点で特徴的なものの番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、教育図書の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。言語活動を取り入れた学習の示し方が13種類あります。具体的には、14ページをご覧ください。14ページの右端の中央部には「話し合ってみよう」、15ページには「考えてみよう」、17ページの右上には「やってみよう」というように、その他に「調べてみよう」「体験してみよう」、「聞いてみよう」、「発表してみよう」、「比べてみよう」、「つくってみよう」、「観察してみよう」、「思い出してみよう」、「試してみよう」、「まとめてみよう」と、13種類の言語活動が示されていることです。

続いて開隆堂の特徴について、観点で特徴的なものの、番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに、開隆堂の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、6ページをご覧ください。「家庭分野のガイダンス」において、「生活の見方・考え方」として生活の営みに係る見方・考え方について2ページに渡り解説しています。

以上で技術・家庭科（家庭分野）の教科用図書の調査報告を終わります。

小川会長：それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

木谷委員：東京書籍は、最も特徴的なのが第3の観点でよろしかったですか。

調査員：はい。

木谷委員：目次を参照しながら、説明をいただいたのですが、どういった点に構成の良さがあるのか、特徴的な部分について教えていただけますか。

調査員：学習指導要領では、食を含む衣食住の生活をBとして2番目の配列

としていますが、東京書籍は、食の内容を1年生で扱うことが多いことに配慮し、第1編として最初に配列しているところが特徴です。残りの2社は、学習指導要領に記載されている順に配列されています。

木谷委員：ありがとうございました。

小川会長：その他いかがでしょうか。

行廣委員：教育図書の特徴的な点である第5の観点で、言語活動を取り入れた学習の示し方が13種類あるとあります。東京書籍の5種類、開隆堂の4種類と比べると、学習の示し方の数が突出しておりますが、これは指導する際に子供たちの深い学びにつながるものなのか、お聞きしたいです。

調査員：内容は3社ともほぼ変わらないと思います。表現の仕方として、より細かく13種類の表現としているのはわかりやすいと思います。

行廣委員：ありがとうございます。

小野委員：同じ部分ですが、子供たちがどんな興味をもって家庭科に取り組めるのか、中学生になると家庭科の意欲が高いのか低いのかわかりませんが、こういうものを使って、「話し合ってみよう」などは特に19ページにある「家族の関わりとコミュニケーション」というところで、家庭で話をする内容が、お母さんに聞いてみるとか、保護者に聞いてみるとか上手に使う気や深い学びにつなげることができれば、13種類あることはいいと思います。

ただ、4つ、5つに集中にして取り組むこともよいと思います。先生として教えやすいのはどちらですか。

調査員：言語活動の示し方がたくさんあることは子供たちは考えやすいと思います。導入部分で扱えたり、展開部分で扱えたりと、先生のやり方にもよりますが、子供たちは具体的で活動がしやすいと考えられます。

小野委員：ありがとうございます。

高石委員：教育図書の第4の観点で、小学校の教科等の学習内容との関連や中学校の各教科の学習内容との関連とありますが、府中市は小中一貫教育という

ことで、小中のつながりから考えたとき、東京書籍や開隆堂はどうか。

調査員：第4の観点で、東京書籍は184ページに、小学校家庭科での学習内容を示していて、186ページには「小学校」マークというもので、小学校で習った内容の教科名と単元、題材の概要を示してあります。

開隆堂については230ページにあるように、各項の冒頭に、「小学校での学び」というキーワードで小学校家庭科での学習内容の解説がしてあります。231ページには「他教科」のマークがあり、また233ページには「リンク」マークがあり、他教科や小学校とのつながりが書かれています。

高石委員：9年間の見通しがいいと思います。指導者にとっても、子供にとってもよいと思います。

小川会長：その他、関連してでもかまいませんし、別の視点からでもかまいません。いかがでしょうか。

小野委員：東京書籍でいろいろなところに「他教科」のマークがあります。96ページの真ん中あたりにも、道徳とか社会（地理）とかありますが、これは道徳の教科書を使って授業をするということですか。

調査員：参考になるということです。やり方にもよりますが、教科等横断的な授業を行う上で助けになるということです。

小野委員：重要なことが他教科にも載っていれば、それを持ってきて参考にすることがあるということですね。

調査員：その通りです。

高石委員：東京書籍の101ページに振返りがありますが、自己評価にかかわるようなものが他社にはありますか。

調査員：東京書籍では100ページ、開隆堂では155ページ、教育図書では160ページにあるように、単元の終わりに学習のまとめがあります。自分のことばでまとめよう、生活に生かそう、話し合ってみようなど、3社とも学習の振返りができるようになっています。

高石委員：東京書籍の100ページの学習の振り返りは、A・B・Cで記入できたり、自己評価が簡潔にできたりするので、これを活用するのはいいと思いました。短時間のうちにまとめをして自己評価するには東京書籍はいいと思います。

調査員：振り返りについては考えられていると思います。

小寺副会長：開隆堂の7ページに「持続可能な社会」があります。今回、重要視されており、学習指導要領にも落とし込まれていますが、このあたり3社の扱いはどうなっていますか。

調査員：家庭科では、「持続可能な社会」が3社とも含まれています。開隆堂では目次の3ページを見ていただくとわかりますが、單元ごとの最後に、Aでいうと「5 持続可能な家庭生活」、Bでいうと「7 持続可能な食生活」といったように、単元の終わりに「持続可能な〇〇」というような文言があります。

東京書籍では、目次の1ページを見ていただくとわかりますが、「自ら生活をつくる」の編には、「持続可能な〇〇生活を目指して」というのが食衣住すべてにあります。「消費生活」など各編の單元末にもあります。

教育図書も238ページに「持続可能な社会を目指そう」という項目があります。

小川会長：ありがとうございました。

その他、よろしいでしょうか。

小野委員：索引のページはどれも同じような感じですか。家庭で教科書を聞かれたときに、調べ方がわかりづらいことがあるので、どれがわかりやすいですか。

調査員：3社ともキーワード的なものがあります。教育図書は、各章の最初のページのめあての下に「キーワード」があります。例えば80ページ、「栄養素の種類と働きを知ろう」の、めあての下に「キーワード」があります。これは教育図書のみでした。

東京書籍も、70ページに「肉の種類」、「肉の調理上の性質」とありますが、同じ「キーワード」ですが索引とは少し違うと思います。

小川会長：それでは時間もまいりましたので、調査員から報告は終わりたいと

思います。調査員さん、ありがとうございました。

小川会長：では、これより、調査員の報告書をもとに協議を行います。
3社の教科用図書の説明を聞かれて意見等がありましたらお願いします。

小川会長：調査員の報告から、そのとおりだなとか、ここはこういう特徴があるとか、報告と重なってもかまいませんので、ご意見があればお願いします。

行廣委員：私が質問した第5の観点の言語活動の充実についてですが、教育図書の13種類の学習の示し方が事前に示されおり、この中から選ぶとなると、逆に子供たちが受け身にならないか心配があり質問しました。しかし、これは表現の仕方の違いで子供たちにとってはわかりやすいとの報告だったので、他の東京書籍の5種類、開隆堂の4種類をみましても、これらを細かく見たときに13種類になると思います。

あと、子供たち自身が授業を受けたあと、視点を自分たちで見つけていくのであれば、東京書籍5種類、開隆堂4種類と数が少ないですが、学習の示し方があるのは面白いと思います。あとは授業の構成次第だなと思いました。

小川会長：ありがとうございました。第5の観点でご意見をいただきました。その他の観点でもご意見がありましたら、お願いします。

小川会長：では、次の教科にいけますが、評価の方はどうしたらよいですか。

事務局：後に回していただければと思います。

小川会長：それでは、技術・家庭（技術分野）の調査員さんの報告の方をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

調査員：失礼します。それでは、ただいまより、技術・家庭（技術分野）の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いたします。

まずは「東京書籍」の特徴について各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点の視点①でした。具体的には、東京書籍の138ページの中ほどをご覧ください。ここでは「エネルギー変換に関する技術」の小学校の各教科等の学習内容との関連、中学校の各教科等の学習内容との関連についてまとめて表示されています。また、142ページの中段の左側をご覧ください。学習の過程でも小学校や他教科等のつながりをピンポイントでわかるような工夫がなされています。このことはカリキュラム・マネジメントの視点からも、また、府中市が目指す小中一貫教育並びにコミュニティスクールの取り組みが目指すものと考えます。小学校や中学校の他教科との関連をはかることが、めざす学習内容をスムーズに深めることにつながり、全体に渡っては、社会に開かれた教育課程を実現できるように、学習指導要領に示された指導計画の作成と内容の取扱い準拠し、生徒の資質能力が育まれるよう教科書の構成が配慮されているという特徴があると考えます。

続きまして、「教育図書」の特徴について各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに教育図書の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点①でした。教育図書の270ページをご覧ください。具体的には、学習内容の構成や資料の配列について「複合的な内容に力を入れている」という特徴がみられます。技術の学習内容は4つありますが、これらの技術（学習内容）を組み合わせると「これがあつたらいいな、こんなことを実現したいな」という願いを形に表すことができます。その具体例をこの教科書では次の272ページから載せているのが特徴であると考えます。272ページの上段にリンクという文言がありますが、ここではAの学習内容（材料と加工の技術について）とCの学習内容（エネルギー変換）との内容とリンクしています。複合的な内容となっています。

それでは最後に、「開隆堂」の特徴について各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点②

第5の観点は視点①が特徴的でした。

さらに開隆堂の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点①でした。具体的には、開隆堂の14ページをご覧ください。ガイダンスにおいて、見開きで「技術の見方・考え方」を掲載し、電気ストーブにおける技術の工夫やしくみを取り上げ、電気ストーブに込められている工夫について、人々の思いや願い、経済性、環境保全について考え、最も適した技術の仕組みを考えていっております。このような、学習の進め方の例を示し、各内容で技術の時間の見方・考え方をつかめるようになっていきます。実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくしようとする意欲を引き出し、自ら問題を見出し、課題を設定して解決を図る、身に付けるような特徴がある教科書です。

以上で、技術・家庭（技術分野）の教科用図書の調査報告を終わります。

小川会長：ありがとうございました。それでは、各委員さんの方から、今の報告を受けてご質問等ありましたら、お願いします。

伊藤委員：教育図書の第3の観点、複合的な内容の充実のご説明を受けました。今までに習ってきたものを複合的に生かしているところだと思いますが、他の教科書に同じようなことが記載されているか教えてください。

調査員：教育図書の場合は、内容項目がA、B、C、Dとあって、Eとして複合的な内容を学ぶ項を5つ目として作っております。しかし、他の教科書も複合的に関連付けて考える欄（ページ）はありますが、ここまで特徴的に項を設けているものはありません。

小川会長：私の方からは2点。今回の改訂の大きな柱である、各教科での「見方・考え方」と、プログラミング教育（技術分野に関わって）について、各社どのような特徴が出ているのか教えてください。

調査員：1点目ですが「共通した特徴」があると思います。学習指導要領にある「技術の見方・考え方」を働かせるような教科書のつくりになっています。「技術の見方・考え方」とは、技術の開発・利用の場面で、生活や社会における事象を技術との関わりとの視点で生徒たちが捉えられるような工夫がなされています。具体的に、「B生物育成」で言いますと、東京書籍は130ページ、教育図書は114ページ、開隆堂は134ページがここに当たると思います。私たちが健康に生活する上で欠かすことのできない生物育成の技術であると同時に、環境保全やエネルギー利用にも密接に関わっているかを生徒たちに考えさせ、自分たちが取り組んだ問題解決を振り返りながら社会では「生物育成の技術」がどのように『最適化』されているかを考えさせるようになっているのが特徴です。

もう一点、どの教科書も、「プログラミング教育」については取扱いがなされています。東京書籍では220ページ、教育図書では208ページ、開隆堂は206ページ、ここからプログラミングについて教科書に載っています。学習指導要領で示されている「ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング」及び「計測・制御のプログラミング」は、生徒の発達段階も考慮しながら、社会で活用されている技術例えば、自動車であったり、ロボット掃除機であったり、ゲームであったり、最も身近なところでは自動ドア、これらをなぞらえた題材になるように工夫がなされております。

小川会長：その他、ご質問はございませんか。

小寺副会長：先ほどの、プログラミング教育の話ですが、技術はICTが関わっているということで、今回の教科書から二次元コードが付いていますよね。しかし、東京書籍は二次元コードがついていません。GIGAスクール構想の実現となると、そういった面も充実した教科書ということで、対応している方が、子供は興味関心が持てるのではと思いますが、二次元コードに関わって教科書の特徴的なものはありますか。

調査員：二次元コードは他の教科書にはありますが、調査をする段階で、東京書籍ではDのマークがあつて、二次元コードはありませんが、デジタルでどこつながっているのかを示しております。97ページのDマークがデジタルで、データで示せるようになっています。

小寺副会長：Dというのがデジタル教材ということですかね。

調査員：そうです。

小川会長：その他いかがでしょうか。なければ、質問を終わりたいと思います。では、調査員の方、ありがとうございました。

小川会長：これより、協議を行います。調査員からの説明を受けて、それぞれの観点でもかまいませんし、その他の点についてでも構いませんので、ご意見をいただいたらと思います。

木谷委員：先ほど最後に、二次元コードの話になっていたので、東京書籍を見ていましたが、あるみたいです。数は少ないですが、それぞれの編の最初のページ、89ページ、139ページ、199ページなど第2、第3、第4編にあります。第1編は見つけれませんでした。探せば何が出てくるのかは分からないままですが、二次元コードはあります。

小川会長：府中市において、プログラミング教育でドローンの教育も計画的に進む予定になっていますので、今のような各教科書会社のプログラミング教育に係っても選定の上で各社の特徴についてはしっかり確認をしていきたいと思えます。

小寺委員：東京書籍の二次元コードはかなり充実しています。数が少ない分、いろいろ幅広く、簡単にどこかに用意するレベルではなくて、いろいろなところにパッと出てきて、そこが選べて非常に充実しています。

小野委員：授業って実際、二次元コードを読んでやっているのですか。

小寺委員：10月から端末が入ります。今までは、なかったんですよ。

小野委員：これから5GとかICTとかいう時代になれば、こういう物の方が早いんで、あるほうが子供たちも受け入れやすいのかなと思います。一人一台それがないのであれば、それがない表現の教科書の方が使いやすいのかなと思います。

小寺委員：一人一台の端末ということにならないのであれば、二次元コードがあまり意味がありません。一人一台の端末ということになるのであれば、より深めるため幅が広がれば、授業中子供が動画のようなものを見ることができるので、

教科書としては面白いですね。

小野委員：動くものを見ることでできるというのはいいですね。

小川会長：学びを深めるために、自分でこれがもっとうなったらどうなるんだろうとかみんなに広めていける材料になっていくのかなと思います。

小野委員：目から入ってくる知識・情報は印象にも残りやすくよいと思います。

小川会長：教科書の選定の中でもそういった特徴が、教科書にどのように扱われているのかというのは調査員の報告の中でも注視していく必要があります。

その他いかがでしょうか。ご意見がなければ、先ほど、事務局から言われましたが、資料3をお出してください。1枚目が家庭分野で、次めくっていただきますと、技術分野が出てきます。ここの枠の中へ1から3段階で、先ほど、事務局から説明がありましたが評価をしていただければと思います。時間を5分ほど取りますので、評価表にご記入ください。

小川会長：それでは、調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞って10分以内で報告をお願いします。

調査員：ただいまより、数学科の教科用図書調査報告をさせていただきます。よろしく願いいたします。

まずは、東京書籍の特徴について、各観点で特徴的なものの番号をお伝えします。観点4については、調査項目が1つしかないため省略させていただきます。

第1の観点は①

第2の観点は①

第3の観点は①

第5の観点は②が特徴的でした。

具体的には、1年生の182ページをご覧ください。ここには、第2の観点の①「興味・関心を高め主体的に学習に取り組む工夫」として、学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に活用できる題材を取り上げています。また、240、241ページをご覧ください。そこには、社会で数学を活用している人

を紹介した読み物やその人の仕事に関わる課題も取り上げています。

次に、大日本図書の特徴について報告します。各観点で特徴的なものは、

第1の観点は②

第2の観点は①

第3の観点は②

第5の観点は②が特徴的でした。

具体的には、2年生の20、21ページをご覧ください。

ここには、第1の観点の②「基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫」として、「プラスワン」を「Q」の後に配置し、さらに練習するための問題を示しています。また「例」や「問」の横に「思い出そう」を配置し、既習事項を振り返る問題や解き方を示しています。

次に、学校図書の特徴について報告します。各観点で特徴的なものは、

第1の観点は①

第2の観点は①

第3の観点は①

第5の観点は①が特徴的でした。

具体的には、1年生の65ページをご覧ください。ここには、第2の観点の①「興味・関心を高め主体的に学習に取り組む工夫」として、学習内容を深めたり広げたり、日常生活に活用できる題材を取り上げられています。また、91ページをご覧ください。学習内容がどの職業に関連するかや数学の歴史を紹介した題材も載せてあります。

次に、教育出版の特徴について報告します。各観点で特徴的なものは、

第1の観点は②

第2の観点は①

第3の観点は②

第5の観点は②が特徴的でした。

具体的には、1年生の22ページをご覧ください。ここには、第2の観点の①「興味・関心を高め主体的に学習に取り組む工夫」として、学習内容を深めたり広げたり、日常生活や他教科の学習に活用できる題材を取り上げられています。また、278ページをご覧ください。社会や職業の中で、数学が活用されている例を紹介した読み物も載せてあります。

次に、啓林館の特徴について報告します。各観点で特徴的なものは、

第1の観点は①

第2の観点は②

第3の観点は①

第5の観点は②が特徴的でした。

具体的には、1年生93ページをご覧ください。ここには、第1の観点の①「学習課題に対して解決の過程が適切かどうか」として、「例題」にタイトルをつけ、学習内容がはっきり分かるようにしてあります。「例題」の解答は、ノート形式で、途中式などを省略せず丁寧に記述しており、ノートを書くときの参考にできるようになっています。「例題」の多くで「考え方」を示し、解決の糸口がつかめるようにしてあります。また、39ページをご覧ください。「×誤答例」を示し、誤りを指摘したり、正しくしたりする活動を促してあります。

次に、数研出版の特徴について報告します。各観点で特徴的なものは、

第1の観点は①

第2の観点は②

第3の観点は②

第5の観点は②が特徴的でした。

具体的には、1年生102ページをご覧ください。ここには、第1の観点の①「学習課題に対して解決の過程が適切かどうか」として、「例」の解答を丁寧に示し、自主学習にも支障がないようにしてあります。また、キャラクターの疑問を通して、どのようなところに着目すればよいか分かるようにしてあります。

最後に、日本文教出版の特徴について報告します。各観点で特徴的なものは、

第1の観点は②

第2の観点は①

第3の観点は②

第5の観点は②が特徴的でした。

具体的には、2年生59ページをご覧ください。ここには、第1の観点の②「基礎的・基本的な知識・技能を定着させるための工夫」として、各学習内容の前に、「次の章を学ぶ前に」を設け、その章の内容に関連する既習事項や問題を示しています。また、41ページをご覧ください。「例題」や「問」の横に配置されている「大切な見方・考え方」には、既習事項と関連付けて、その場面で身に付けたい数学的な見方・考え方等が示してあります。「問」の後に「チャレンジ」として、さらに練習するための問題も示してあります。

以上で、数学科の教科用図書の調査報告を終わります。

小川会長：それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

木谷委員：たくさんの教科書会社を拝見する中で、数研出版だけ探求ノートという別冊がありますが、こういった活用方法があるのか教えてください。

調査員：自ら課題を見つけ、解決するという活動で活用します。

木谷委員：別冊になっているのは何か意味があるのでしょうか。持ち帰りやすいとかですか。

調査員：教科書で入りきらなかったものがこの別冊に載せてあります。他の教科書会社だと、この別冊に載せてある題材が教科書の中に掲載されていることもあります。

小川会長：これから求められていく力として、課題を発見して解決していく力がありますが、与えられた課題を演繹に解けばよいというのではなくて、課題を発見して、この問題を解くためにはどういった条件が必要だとか、どういう風に解決していけばよいかなど、試行錯誤が求められるような課題発見・課題解決学習に関わって、各社で特徴があれば教えてください。

調査員：数研出版以外の会社の6社については、主体的に取り組むための型が用意されています。東京書籍については、2年生83ページをご覧ください。ここには、「気温が30℃のとき、保冷パックに入れたペットボトル飲料を10度以下に保つことができる時間と温度の関係を対応表やグラフを用いて予想する、さらに、身の回りで一次関数を活用して解決できる問題を探す」という項目があります。この問題を解決するにあたり、「問題をつかむ」「見通しを立てる」「問題を解決する」「理解を深める」、などの型が示されています。この型は、様々な問題を解決するときに活用できる汎用的な型です。

行廣委員：7社のうち、第5の観点の特徴的なところがノートの使い方、作り方など、「ノート」がキーワードになっていますが、学校図書だけは、自分の考えを説明したり解決に向けて見通しを話し合ったりする活動ができるように工夫しているというところを特徴にあげています。どのようなあたりでみられているか教えてください。

調査員：学校図書の2年生95ページをご覧ください。数学的活動として、「問

題を見つけよう」「実験」「考えよう」というタイトルをノートに書かせて、活動の流れを理解した上で、話し合い等に取り組ませることが示されています。

行廣委員：ノートの使い方を示した上で活動に取り組むと、仕組みやすいということですね。

調査員：そうです。

小川会長：それでは、他にご質問はありませんか。
質問がないようですので、終わりたいと思います。調査員の方、ありがとうございました。

小川会長：これより、協議を行います。調査員からの報告書に基づいて、ご意見等をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

小川会長：数学の場合、第1の観点、第2の観点が重要であると思います。最近の数学で求められる力は、各学力調査でも、問題の中で何が課題かを見つける力、見通しを立てる力、どういう方法が解決に結びついていくか、既習からいろいろと試行錯誤する力が求められています。そんな中、各社、第2の観点の②をポイントに挙げています。その中でも、日常のいろんな事象から問題を設定している部分は、生徒も身近な問題として考えることができるので、よい設定をしている教科書もあると見させていただきました。

木谷委員：調査内容からは、第1の観点、第2の観点の記述内容が類似しているため、差異を見いだすのが難しいですが、日文の説明の際に挙げていただいた、59ページにある、「次の章を学ぶ前に」という部分は、既習事項を理解した上で次の章へ進むことができる工夫がなされているのはよい部分だと捉えました。

小川会長：算数・数学でいうと、学習を進めていく上では、土台を積み重ねていく教科なので既習事項が非常に大切になってきます。前時までに学習した内容を学習前にしっかり想起させることができるところは大切な視点だと考えます。その視点も各教科書会社で工夫されていると思います。

小川会長：その他のご意見はいかがでしょうか。
ご意見がないようなので、終わろうと思います。

小川会長：それでは、調査報告や協議を元にして、評価表にご記入ください。

小川会長：続いて、音楽の調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞っていただいて10分以内で報告をお願いします。

調査員：音楽（一般）の教科用図書の調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは、教育出版社の特徴について各観点の特徴的な視点についてお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

もっとも特徴的なものは第1の観点の視点です。具体的には、歌唱の基礎基本の定着を図るためのふきだしがあるということで、第2・3学年の下を出してください。ページは44、45ページです。教材は「長唄『勸進帳』をうたおう」です。長唄の特徴や口三味線について書いてあります。「音楽の演奏を聞いて、まず三味線の旋律を口三味線で歌ってみましょう」など演奏のポイントを示しています。また、演奏の際の姿勢を横向きの写真で掲載し、「背筋を伸ばしおなかに力を入れて大きな声で」と歌う時のポイントを示してあるのが特徴だと言えます。

続きまして、教育芸術社についてです。特徴的な番号についてお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

もっとも特徴的なものは第1の観点の視点になります。具体的には、第2・3学年上の教科書です。ページは60ページで、「長唄『勸進帳』から」という教材になります。歌唱の基礎・基本の定着を図るための工夫として、「声や音楽の特徴を生かして長唄を唄おう」において長唄「勸進帳」を取り上げ、学習活動について「模範演奏を聴いたりまねたりしながら声の音色や節回しの特徴を感じ取り、表現を工夫して唄いましょう」と記載してあります。旋律を線の上下で表すなど視

覺的にわかりやすく示してあります。また、それぞれ部分を唄う時に気をつけることをや、アドバイスがイラストとともに示してあります。以上が音楽（一般）の教科書についての調査報告になります。

小川会長：まず、音楽（一般）について特徴的な所の説明がありました。ご質問がある方はお願いします。

小寺副会長：2社とも観点1の基礎・基本の定着の部分で、長唄の「勸進帳」を取り上げていましたが、子供が主体的に取り組むための工夫でいうと、どのあたりが関係する部分になるのでしょうか。

調査員：大前提として、学習指導要領に基づいて教科書が作られていまして、音楽の場合は教科書の中身を教えるというのではなくて、教科書で教えるということなので、一つの道具であると考えています。子供たちが取り組みやすいように、楽譜等を視覚化しているというところがあげられます。視覚化する方法については教育出版は口三味線を扱っております。教育芸術社はもう少し子供たちに寄り添った形の図式で書かれており、子供たちが主体的に取り組みやすく配慮してあります。

小川会長：その他いかがでしょうか。

高石委員：どちらの教科書もよく考えられていますが、今言われたように第1の観点はどちらも特徴的で、他の観点については、同じ番号なので、もう1つずつ特徴をあげるとしたら何がありますか。

調査員：先ほどと重複しますが、中身を教科書で教えるわけではなく、教えるための一つの道具ということになりますので、似通ったものにどうしてもなってしまうというところがあるように思います。この調査を進める中で多少は違いはありますが、まとめて見た時にほぼ学習指導要領に沿ってよく作られた教科書ではないかというのが、調査員の概ねの結論です。2つ目をあえて教えてもらいたいという要望になかなか即答ができないのが現実です。ただ、小中一貫教育、9年間のつながりを考慮して指導をしていくことが大事であると考えます。

小川会長：その他は、ありませんか。

それでは続いて音楽（器楽）の特徴的について説明をお願いします。

調査員：それでは、音楽・器楽の教科用図書の調査報告をさせていただきます。まずは、教育出版社についてです。各観点の特徴的な視点を番号でお伝えいたします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

最も特徴的なものは第5の観点の視点であります。器楽分野における言語活動の工夫という部分の具体についてお話します。「合わせて合奏しよう」（音のスケッチ）71ページになります。このなかで、「グループに分かれて基本形を演奏します。速度や強弱などは、グループで話し合って確認しておきましょう。」「基本形にはオプションパートを加え、構成を工夫した形が仕上がったら、グループごとに発表してみよう。」など言語活動が充実する工夫が示してあります。以上が教育出版社の最も特徴的な観点ということになります。

続けて教育芸術社です。各観点の特徴的な視点数をお伝えします。

第1の観点は視点②

第2の観点は視点②

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

最も特徴的なものは、第5の観点の視点です。具体的には、11ページになります。教材曲「聖者の行進」において、学習過程が①②で示され、2において「①で感じ取ったことをもとに、友達と話し合いながら曲全体のアーティキュレーションを決め、2つのパートに分かれて演奏しましょう。」とキャラクターの吹き出しで示されています。具体例としては、「長くのばす音にはどんなアーティキュレーションを使えばいいかな？」「アイディアを楽譜に書いておくと演奏に役立つね。」「アーティキュレーションを工夫すると、より表情豊かな演奏になるね。」と生徒の思考に沿ったものになっています。このように、器楽分野における言語活動が充実する工夫がなされております。以上が音楽（器楽）の教科用図書の調査報告です。

小川会長：ありがとうございました。ご質問等がありましたらお願いします。

木谷委員：第2の観点「主体的に学習に取り組む工夫」で、教育出版は①の方を

特徴的なものとして挙げられました。教育芸術については②を挙げられています
が、もう少し具体例を挙げながら特徴的な点は教えていただきたいです。第1の
観点はどちらとも②であったので、ここに少し違いがあるのかなと思いました。
説明が可能であればお願いします。

調査員：まず、教育出版についてです。報告書では、「①各楽器の『Let's Play』
『Let's Try』で楽曲を演奏し、それぞれの楽器を使った創作活動へとつながっ
ている」という報告しております。具体的には、教育芸術は創作へと繋げていく
課程が各楽器ごとではなく、箏の学習の後にのみ創作活動があるのに対して、教
育出版は、各楽器の後にその楽器にあった創作活動がついているというところ
です。これに対して教育芸術の方は第2の観点で「各楽器の学習の最初に『楽器
を知ろう』とあり、楽器の特徴や歴史、用いられるジャンル、庶民との関わりな
どの記載があります。また、和楽器の学習ではそれぞれの楽器の演奏者からのメ
ッセージが記載されている。」と報告をしております。このように世間との関わ
りという点で少し特徴が見られたためです。

木谷委員：はい。わかりました。

小川委員：そのほか質問等ありませんか。なければ、調査員による報告を終了さ
せていただきます。ありがとうございました。

調査員：ありがとうございました。

小川会長：それでは、協議に移ります。まず、音楽（一般）から、観点ごとでも
かまいませんし、観点をあわせてのご意見でもいいのでありましたらお願いしま
す。

小野委員：長唄「勸進帳」を同じページで説明してくれましたが、教育芸術の方
が絵で見て、音の高い・低い、言葉の長い・短いがわかりやすいと思いました。

伊藤委員：自己評価の点でいうと、教育出版社は、「気づいたこと」「みんなで考
えたこと」などを書けるような工夫があります。プリント等を使用してやられて
いるとは思いますが、そういった工夫があるようにみえました。

高石委員：自己評価がここではあまり話題にならないですけど、やはり主体的な
学習というのは、自分の課題を最終的に見つけて、次へ繋げるていくというのが

教科書に記載してあれば最初にそれをめあてとして見ればよいと思います。そういう所ところ今みていましたら、明らかに違うと思いました。

木谷委員：伊藤委員がいわれたのは何ページのところですか。

伊藤委員：教育出版の2・3年上でいうと、30ページから32ページのあたりです。

小川会長：そのほか、教科書をみてこういった特徴があるといったご意見があればお願いします。

木谷委員：教育出版のほうが、学習の流れがつかみやすいかもしれないです。教育出版の2・3上を見ているんですが、「くらべてみよう」や「深めてみよう」など、学習の視点やねらいがわかりやすい印象があります。

小川会長：それでは時間も迫っていますので、続いて器楽についてご意見等ありましたらお願いします。

小寺副会長：音楽というのは、できる子とできない子の二極化がみられます。音楽に触れていない生徒が主体的に取り組める教科書としてはどちらがよいのでしょうか。

小川会長：その点でいかがでしょうか。

小寺副会長：音楽は基礎・基本がしっかりしていないと次へのステップが難しい教科だと思います。

高石委員：教育出版の方が、いろいろな楽器を使っているという点でよいと思います。選択ができる幅が広がるという意味では、主体的な学習につながると思います。

小川会長：調査員からも教育出版でいえば、第2の観点の①が特徴なのではないかという意見が出ました。そのほか、いかがでしょうか。
ないようなので、資料3の方の音楽（一般）と（器楽合奏）それぞれの分野での評価をお願いいたします。

小川会長：続いて、国語の調査員の調査研究報告をお願いします。なお、ポイントを絞っていただいて10分以内で報告をお願いします。

調査員：ただいまより、国語科の教科用図書調査報告をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まずは東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点②

第5の観点は視点①

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には、話し合う活動において、総括に載せているテーマのほかにも、「使い捨てプラスチック容器の使用の禁止について」などの社会問題に関するテーマが取り上げているというところでした。

続いて、三省堂の特徴について、報告します。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点②

第5の観点は視点①

さらに、三省堂の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体的には同じグループディスカッションを行う中で、1年生では「話題に沿って話し合う」、2年生では「互いの立場を尊重しながら話し合う」、3年生では「様々な方法を理解して計画的に話し合う」などと系統的な学習内容になっているところでした。

続いて、教育出版の特徴について、報告します。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第5の観点の視点でした。具体

的には「意見を述べる活動」や「議論や討論をする活動」などの「話す・聞く」の学習をする場面で活用できる言葉や、「伝えたいことを整理して書く活動」などの「書く」の学習をする際に役立つ言葉が掲載されているというところでした。

続いて、光村図書の特徴について、報告します。

第1の観点は視点③

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

さらに、光村図書の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には2年生のプレゼンテーションの活動のほかにも、3年生での「スピーチで社会に思いを届ける」活動で、「被災地支援」や「プラスチックごみ」などの社会問題をテーマにした問題解決的な学習を取り入れているところでした。

以上で国語科の教科用図書の調査報告を終わります。

小川会長: それでは、今の調査報告を受けて、質問等ありましたらお願いします。

小川会長: 第2の観点で東京書籍、光村図書にそれぞれ特徴があるということで、両方を見ると、社会問題に関するテーマで話し合うような設定ということですが、もう少し、この2社について今の第2の観点①について、教科書の何ページという具体も示しながら説明していただけますか。

調査員: 東京書籍でいうと、2年生の193ページ、「話し合いで問題を検討しよう」の単元の中で、194ページのテーマの例で、さまざまな社会問題についてのテーマがあげられています。社会に目を向けてさまざまなテーマの中から、どのようなテーマで話し合うかがあげられています。

小川会長: 光村図書ではどうですか。

調査員: 光村図書では、総括にあげたのは、2年生の54ページです。「魅力的な提案をしよう」で、ここではALTのマシュー先生に町の散策コースを提案するというので、自分たちが住んでいる地域についてよく知り、情報収集し、それを相手に応じて伝えるという活動が入っています。その他に3年生で「社会に思いを伝える」という52ページがあげられます。こちらにプラスチックのごみ

についてのことが例としてあげられていますが、他にも世界で紛争が続いていること、被災地への支援ということなど、様々なテーマの例が挙げられていると思います。

小寺副会長：今、教科書が読めない子供たちが増えていると聞きますが、中学校で教科を見ていくとまさにそうだと思います。全国学力にしろ高校入試にしろ、あの問題を読みきるというのは、力をもってないとだめだということになります。5観点でいうと、この1番の基礎・基本の定着が重要になっているのだと思ういます。今説明いただいた調査書の中では、特に特徴的なところは示されなかったのですが、特に特徴を見出すことは難しいということですか。

調査員：漢字や語句であったりというのは、それぞれ文中にルビがあるもの、脚注で音訓が示されているもの、本文中でしか示されていないものもあるのですが、特徴を見つけるのは難しかったです。あと、東京書籍でいうと、1年生の前半は文章量が大幅抑えられています。大きな活字で書かれていて、小学校の復習も兼ねた内容が書かれているのが特徴です。また、教育出版でも、接続という意味では、金子みすずさんの詩が一番最初に取り上げられていて、小学校で扱われている題材と近いものを取り上げられています。また、光村図書では、1年生の一番最初に、「言葉に出会うために」という単元があり、小学校の学習の確認をするような内容の部分が単独で示されているという工夫があります。

小川委員：その他、ご質問いかがでしょうか。
続いて、書写の説明をお願いします。

調査員：次に、書写の教科用図書の調査報告をさせていただきます。
まずは東京書籍の特徴について、各観点で特徴的な視点の番号をお伝えします。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

さらに、東京書籍の教科書で最も特徴的なのは、第2の観点の視点でした。具体的には学習を終えた時に、学習の要点を自分なりに振り返ることを説明するようになっているというところでした。

続いて、三省堂の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

さらに、三省堂の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点の視点でした。具体的には、特徴の比較をするために行書と楷書が並べて示してあるというところでした。

続いて、教育出版の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点②

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

さらに、教育出版の教科書で最も特徴的なのは、第4の観点の視点でした。具体的には筆使いのポイントを写真で示しているというところでした。

続いて、光村図書の特徴について、報告します。

第1の観点は視点①

第2の観点は視点①

第3の観点は視点①

第4の観点は視点①

第5の観点は視点①

さらに、光村図書の教科書で最も特徴的なのは、第3の観点の視点でした。具体的には硬筆の実践練習ができる「書写ブック」が付属されており、書き込み欄が豊富にあるというところでした。

以上で書写の教科用図書の調査報告を終わります。

小川会長：それでは、今の調査報告を受けて、調査員に質問はございませんか。

木谷委員：先ほどから第2の観点に係わって、自己評価について話が出ていました。今回第2の観点で①でいくつか記述がありますが、特徴について、具体的なページ等も示しながら、特徴を教えてください。

平賀委員：東京書籍の第2の観点に関して、振り返る活動についてですが、14ページに例としてあります。黒い吹き出しの形の「振り返って話そう」を見てください。ここで学習したことを対話的に他者に伝えて振り返りをするという活動が含まれています。他は重点的にはあげてはおりませんが、三省堂の23ページでは、対話的に語るのではなく、自分が学んだことを残そうという形で、文章化するようになっております。教育出版の19ページでは、「振り返ろう」という緑のマークがありまして、「○できた」、「△もう少し」で振り返りをするようになっています。光村図書の41ページでは、緑の枠内に学習を振り返るという形で、振り返りをする視点が書いてあり、それをチェックするようになっています。

木谷委員：会社によっては、別冊の書写ブックがあります。実際の活動と書写ブックを確認をしながら、リンクさせていくという捕らえでいいですか。

調査員：はい。

小川会長：その他、いかがでしょうか。

小寺副会長：二次元コードにおいて、子供が書きやすいということはあるですか。動画は扱いやすいですか。

調査員：三省堂や光村図書には二次元コードがあります。環境があればわかりやすいです。実際に動くのが間近で見えるとわかりやすいと思います。

小川会長：そのほかいかがでしょうか。

行廣委員：4社ありますが、学年の教材数に大きく差異があると思います。三省堂は硬筆記入欄が第3学年が0ページです。0ページの場合、指導上どう考えればいいですか。学年を越えて3年間のトータルで見ていくという考え方でいいですか。

調査員：その点で見ると、硬筆記入欄があると、毛筆で書いた内容を硬筆で生かす、振り返るという機会があるのは確かです。また、三省堂のように記入欄が0の場合は、他で補っていくことが考えられます。

小川会長：説明ありがとうございました。

小川会長：それでは、続いて協議に入りたいと思います。国語の教科用図書から協議をします。ご意見よろしく願いいたします。

木谷委員：どこの教科書会社もよくできていると思いますが、1点だけですが、光村図書の第5の観点、言語活動の充実というところで、巻末に「学習の窓一覧」という記述があります。話し合いのポイントが整理されていますが、一覧になっているのは、使い勝手がいいと感じます。「学習の窓」がそれぞれの題材であります。例えば、光村図書の1年生の134ページ、135ページあたりに、『言葉』をもつ鳥、シジウカラ」があります。説明的な文章の題材の末に「学習の窓」という形で掲載されています。構成や展開の効果を考えるというものです。それぞれの題材の後ろについているものが、最後一覧という形で整理されていると、その時々で指導した内容が系統立てたり、整理できたりします。どの教科書も巻末は充実はしていますが、本編との関連やつながりを考えると工夫していると思いました。

高石委員：東京書籍と光村図書が観点2の主体的に学習に取り組む工夫というところで、社会的な問題をテーマしたものがあげられていますが、地域的課題に取り組むことが府中市の子供たちの学習の一つの大きなテーマでもあるので、そういう観点が特徴としてあげられているのはいいと思います。国語という教科は螺旋的に学んでいく教科です。同じことをだんだん難しくなっていくのが国語です。国語では、小学校6年生から中学校1年生へ行くとき、結構ハードルが高いのですが、今の説明を聞くと、東京書籍と光村図書については、小学校とのつながり、つまりスムーズに移行できる配慮があるので、その点では評価できると思いました。

木谷委員：小中のつなぎのところでは、工夫しようという意図はこの2社は見られます。

小寺副会長：今度、高校に「論理国語」という教科ができるようです。だから、国語というのは文学を楽しむという面と育てる言語能力という面と、両方がうまくバランスをとっていないといけないと思います。言語能力は教科等横断的に育成するもので、中核をなすのは国語です。

小川会長：続いて書写で特徴的なところ等、観点に係ってお願いいたします。

木谷委員：調査員の先生にもお尋ねした内容にもなりますが、自己評価について、

光村図書の別冊の書写ブックですが、どういう使い方をするのがよいのか考える必要があると思います。やはり評価の観点と実際の自らの学習活動が直接リンクがしやすく、具体的に立ち返りながら、自己評価が可能かなと思いました。そうすることによって、自己の課題を踏まえて、次の学習活動に進むことにおいては、自己評価のやりやすさという点では、優れているの面はあるという印象を持ちました。

高石委員：東京書籍だけが第2の観点を特徴としてあげているのですが、これは本当に斬新だなと思って驚きました。字を黙って書いて自己完結する旧来の授業だったのですが、本来は論理的に考えて、どうやれば文字を美しくできるかというのを、自分の中で考える力があってこそ、字がうまくなるものです。そこを今までの学習ではおざなりになっていたのではないかと思うんですが、こうやって自分なりに論理的に考えて、人に説明するというのは本当に理解しないことできないことだと思います。書写の中に入れてきているこの教科書は評価できます。

木谷委員：新しい視点だと思います。

高石委員：他の人のまねをして上手になれますが、自分だけで黙ってここを直せばいいというのではなくて、字のうまくなるというのは、広がりをつけやすい教科なので、こういうのを入れるというのは、非常に素晴らしいです。でも、時間がかかると思います。

小川会長：時間が十分あるかですね。

高石委員：学期に何回か行うだけでも違うと思います。他の教科もそんなに主体的にとっても、生徒が全部する授業では組み込めないけれど、9年間を通して、そういうのを入れればかなり力がつくと思います。教科書を教えるのではなく、教科書で何を学ばせるかという観点からいえば、この東京書籍のこの振り返りというのが、非常に今まさに付けたい力が書写でも出てきたと思います。

小川会長：書写における協働的な学びですね。その他のご意見はいかがですか？

小寺副会長：国語と書写の教科書は同じ会社のものでなければなりませんか。

木谷委員：同じでなければならぬということではないです。

小寺副会長：素晴らしい教科書でだと思います。国語の教科書は、これまでこのような言語の能力を高めるような教科書だったのでしょうか。

木谷委員：昔は文章集のようでしたが、今は言語能力を高めるというところで、活動と題材をリンクしてありますし、印象としては、巻末の資料の分量はどんどん多くなっています。そこを活用していけるかは、教える側の研究にかかっていると思います。

小川会長：経験のある方の意見が多くあったのですが、保護者目線ではどうですか。

眞田委員：書写ですから、ひたすら見て書くものだと思っていましたが、おっしゃられたように振り返って書くというのは新しい視点です。

小川会長：自分の字を客観的に見て、それをこういうことで気をつけて書きました、習ったことを活用して書きましたというのはよいと思います。

眞田委員：うちの子供も習字をやっていると、二度書きして直したがるのですが、自分で振り返るといった視点はよいと思います。

小川会長：時間の方が終わりに近づいてきましたが、言い残したことはありませんか。それでは、協議を終わらせていただいて、国語、書写、そして最初時間が十分とれなかった家庭、数学の時間の評価をお願いします。

小川会長：それでは、評価も終わられたでしょうか。短時間での調査報告をお聞きいただいたの選定協議でしたが、いろいろな角度から意見を出していただきありがとうございました。以上をもちまして、第2回選定委員会を終了いたします。

府中市教科用図書採択地区選定委員会

会 長 _____ 印

副 会 長 _____ 印

選定委員 _____ 印